PORT OF NAGOYA

名古屋港

整備拡充の要望書

飛島ふ頭

ガーデンふ頭

中川運河

名古屋港海岸

2023年 11月

愛知県
名古屋市
名古屋港管理組合
名古屋商工会議所
一般社団法人中部経済連合会

1907
PORT OF NAGOYA

要　　望

名古屋港の２０２２年の港勢は、新型コロナウィルス感染症の影響下の中、総取扱貨物量は１億６，３５８万トンと２１年連続、輸出額と輸入額の差引額は６兆８，１５６億円と２５年連続日本一を堅持しました。

中部地域のものづくり産業を強力に支援する国際産業戦略港湾として、一層の物流の効率化を進めるとともに、港の強靱化を図り、日本経済の持続的な成長に寄与する港づくりに取り組んでまいります。

特に物流面においては、経済社会活動の確実な回復や経済の好循環を加速・拡大させる下支えをするため、既存施設の有効活用と新たな港湾整備を効果的に組み合わせ、**コンテナ等の取扱機能強化**を図るとともに、情報通信技術の活用等により、**コンテナターミナルの生産性向上**を図る必要があります。一方、本年７月に、名古屋港統一ターミナルシステム（ＮＵＴＳ）のシステム障害により、港湾の物流体制に影響が出る事案が発生したことを受け、同種事案の再発防止等に向けた**サイバーセキュリティ対策を強化**する必要があります。また、持続的な港湾整備に伴い発生する**浚渫土砂の処分場整備を着実に推進**する必要があります。加えて、港湾地域の面的・効率的な脱炭素化や、水素・アンモニア等のサプライチェーンの拠点としての受入環境の形成などを通じて、**カーボンニュートラルポートの形成**を推進する必要があります。

防災面においては、**国土強靱化の推進による安全・安心な港づくり**のため、**防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策**のもと、南海トラフ巨大地震等の大規模災害に対する**防災施設の機能強化**を図るとともに、港湾施設及び海岸保全施設の老朽化対策を推進し、**国民経済・生活を支える重要インフラ等の機能を維持**する必要があります。

交流面においては、港と都心を結ぶ運河など、良好な水辺空間の形成を図り周辺開発と一体となった**親しまれる港づくり**が重要です。

これらの実現に向け、地域としても全力を挙げてまいりますが、格段のご理解と更なる支援が不可欠です。

つきましては、**港湾整備及び海岸整備に必要な予算の確保**、並びに**施策の推進**に対して、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

２０２３年 １１月

愛知県知事　大村秀章

名古屋市長　河村たかし

名古屋港管理組合管理者
愛知県知事　大村秀章

名古屋商工会議所会頭　嶋尾　正

一般社団法人中部経済連合会会長　水野明久

１．ものづくりを支える港

国際競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり

我が国経済を牽引する中部地域の基幹・次世代産業の経済社会活動を支えるため、ストック効果の最大限発現に向けコンテナ取扱機能の強化を集中的に推進すること。

港湾荷役を取り巻く環境変化に対応するため、コンテナターミナルの生産性向上に向けた港湾のスマート化を支援すること。

コンテナターミナルにおけるサイバーセキュリティ対策の強化に向け、必要な支援を行うこと。

名古屋港の港湾整備に伴い発生する浚渫土砂の処分場整備を着実に推進すること。

カーボンニュートラルポートの形成に向けて、港湾荷役機械の脱炭素化の促進について支援すること。

飛島ふ頭地区のコンテナ取扱機能の強化

ストック効果の最大限発現

R1 岸壁（耐震）（改良）
延長 350m、水深 15m
2022 年 10 月供用

R2 岸壁（耐震）（改良）
延長 350m　水深 12m→15m
2023 年 5 月工事着手

港湾のスマート化の支援

コンテナターミナルの生産性向上

遠隔操作 RTG 導入事業
（2019.7～2024.3）
全 40 基
T3・T2 で一部運用中

鍋田ふ頭コンテナターミナル

埠頭整備等資金貸付金事業
T1　荷役機械 3 基整備

鍋田ふ頭コンテナターミナル T1 岸壁

中部国際空港沖土砂処分場の着実な整備

港湾整備に必要な機能確保

港湾荷役機械の脱炭素化の促進

カーボンニュートラルポートの形成

トランスファークレーンのハイブリッド化等

２．安全・安心な港

防災機能の一層の強化と老朽化に対応した港づくり

南海トラフ巨大地震等の大規模災害に対し、地域の生活や産業を守る安全で安心な港湾を実現するため、防災機能の強化を図るとともに、施設の老朽化対策について支援・推進すること。

海岸保全施設および港湾施設の防災機能強化・老朽化対策

地震・津波対策が必要な区間
7.1ｋｍの早期整備が必要

防潮壁の防災機能強化

岸壁の老朽化が進んでおり
施設更新の推進が必要

岸壁の老朽化対策

３．親しまれる港

環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある港づくり

港と都心を結ぶ中川運河において、周辺開発と一体となって水辺に親しめる空間を形成するため、プロムナード整備や運河改良について支援すること。

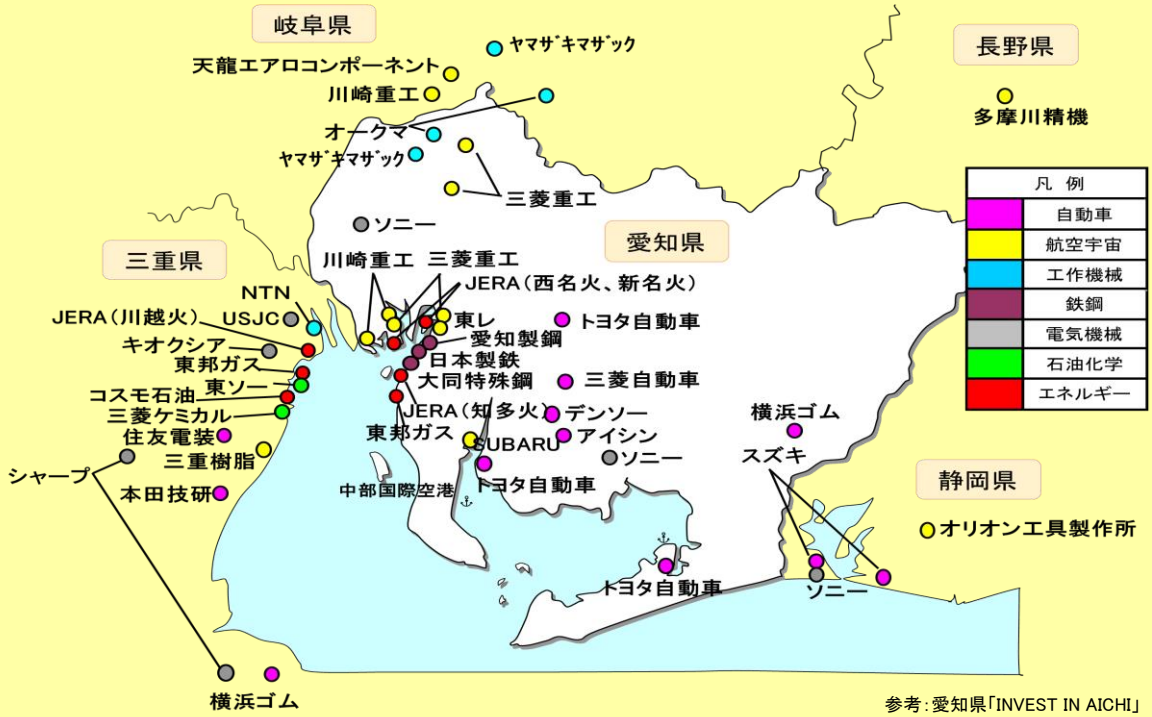
中川運河のプロムナード整備・運河改良

バーミキュラビレッジ

水上交通

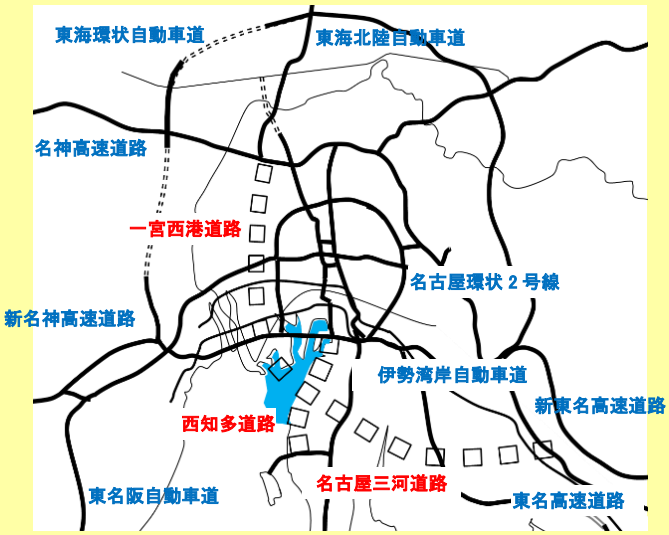
名古屋港を取り巻く近況

○背後圏には、基幹・次世代産業である「自動車」、「工作機械」、「航空宇宙」等の主要メーカーが多数立地

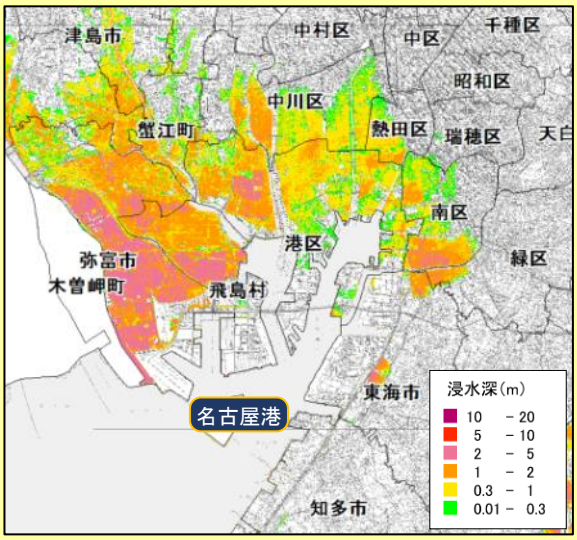


参考：愛知県「INVEST IN AICHI」

○名古屋港と背後圏を結ぶ充実した道路ネットワーク



○切迫する南海トラフ巨大地震等による津波被害予測



出所：愛知県「2011 年度～2013 年度　愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」

既存施設を活かした港湾整備を推進し、

○コンテナ物流効率化の取り組み

NUTS・集中管理ゲートの運用により飛島ふ頭のコンテナターミナルにおける
所要時間（コンテナトレーラー並び始めから退場までの時間）**平均 12～16 分を実現**

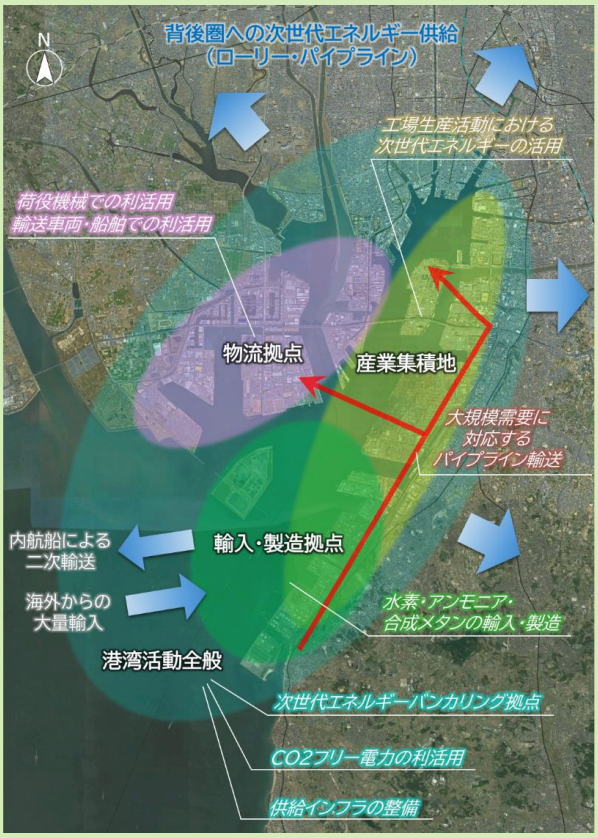
更なる効率化に向け ”NUTS Second” project 進行中

（鍋田ふ頭コンテナターミナル到着前にトレーラーからコンテナ情報を受信する取組の検討）

出所：名古屋港利用促進協議会「名古屋港におけるコンテナターミナル所要時間調査（2019 年 3 月）」

○カーボンニュートラルポート形成に向けた取り組み

名古屋港における CNP 形成の将来像



出所：「名古屋港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画（2023 年 3 月）」

名古屋港において、LNG 燃料供給船「かぐや」から LNG バンカリングを受ける自動車専用船「WILD ROSE LEADER」（2023 年 5 月）

第 1 回 名古屋港港湾脱炭素化推進協議会（2023 年 9 月）

中部地域の経済成長を支え、**生産性向上**を導く

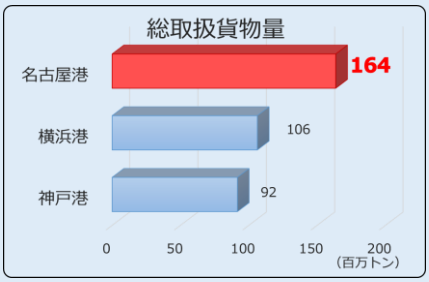
名古屋港の実力　2022年名古屋港の日本一

21年連続 日本一

総取扱貨物量
1億6,358万トン
２００２年から２１年連続

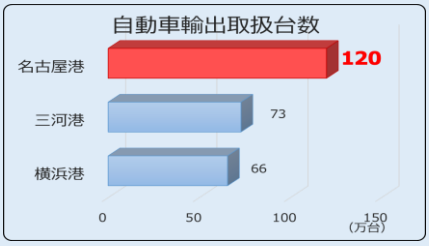
外貿取扱貨物量

23年連続 日本一



44年連続 日本一

自動車輸出台数
１２０万台
１９７９年から４４年連続

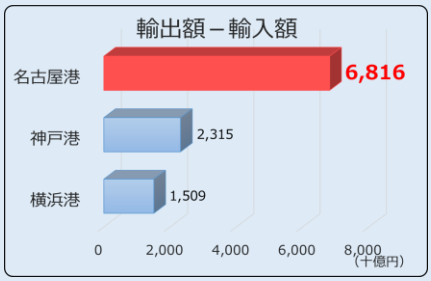


25年連続 日本一

輸出額－輸入額
6兆8,156億円
１９９８年から２５年連続

貿易輸出額

24年連続 日本一



名古屋港の経済効果

愛知県への経済波及効果　約39兆円

愛知県民が購入する

食料品のうち約16%

衣類のうち約88%

家具のうち約58%

が名古屋港経由

出所：名古屋港管理組合「名古屋港の地域経済に及ぼす影響調査（2022年3月）」